

富士中だより

八丈町立富士中学校 平成30年9月28日 第5号

ホームページ <http://www.hachijomachi-ky.ed.jp/fujichu/>

◇ 学校教育目標 ◇
自ら進んで学ぶ生徒
人や自然を愛する生徒
健康でねばり強い生徒
《校訓：自主・敬愛・根気》

「2学期が始まりました」

校長 藤井 和重

今夏は、日本各地で短時間のうちに大量の雨が降り、日常生活に支障が出るという報道が多かったように思います。八丈島でもいくつかの台風が大雨や強風をもたらしました。このような中でも子供たちは補習教室や部活動に意欲的に参加をしていました。その頑張りが成果となって表れ、2学期の始業式では部活動等で多くの表彰を行いました。本当にすばらしいことです。

9月16日（日）の運動会では、天候が不安定の中、朝早くから多くの方々にご来校いただき、ありがとうございました。途中、雨による2度の中断がありましたが、無事終了することができました。保護者の方々・地域の方々には、校庭整備へのご協力や不足物品をお借しいただき、感謝しております。子供たちにとって心に残る思い出とすることができました。

「心の豊かさとは」

社会科の教員時代、ボランティアの一貫で、夏休みは毎年のように熱帯の国フィリピンを訪問していました。今夏、昔の資料を整理していると、当時自分が書いた日記が出てきました。久しぶりに読み返してみると、「経済的に豊かになったことは、果たして本当の幸せなのか」と、改めて考えさせられました。その日記の一部を紹介します。

街角を車で左折すると、そこには大きな人だかりが道いっぱいに広がっていた。もちろん、車で通り抜けることはできない。車から降り、興味本位に近付いてみると、大人たちが大きな声を出し、笑いながらトランプを楽しんでいた。ガイドに尋ねると、よくある風景で「葬式」だという。びっくりした。日本の葬式はもの静かに時が流れていく。この国では死者を天国に送り出すために、明るくにぎやかに振る舞うのがしきたりなのだ。このトランプは三日も続いているという。

葬式の終わりはゲームの参加料で葬式代がまかなえるまで。飲んで食べての大騒ぎが時にはえんえんと夜通し一週間も続く。道いっぱいに広がった人だかりがあっても、日本のように車のクラクションを鳴らして「どけ！」と、合図をすることはない。みんな黙ってUターンをしていく。

そのゲームに親せきや近所の人たちがこぞって参加をしていく。死者の家族には金銭的な負担をいっさいさせない。これがフィリピン式の葬式であり、同じ地域の住人たちは、いつも「パキキ・サマ」（助け合い）の精神で互いに面倒を見合っている。日本人の感覚とは少し違う部分もあるが、家族や親せきだけではなく、地域社会での人間関係がことさら重んじられ、大切にされていた。

便利さや快適さを追求するあまり、日本人が失いつつある大切なものが、この国にはたくさんあるように感じた光景でした。

子供たちには誰に対しても心優しく接することができる人として成長してもらいたい。富士中学校教職員一同、2学期も力を合わせて日々の教育活動に取り組んで参ります。引き続き、ご支援ご協力をいただきますよう、お願いいたします。

遠征結果報告と感想

野球部 都大会出場

新チーム結成時に設定した「感謝」を一番とする野球部の形成を目指し、大会まで、チームメイトと切磋琢磨しながら、日々の練習に打ち込んできました。都大会当日は、経験したことのない重圧に勝てず、大島合同中に1-11で敗れました。結果をみれば大敗ですが、1, 2年生には、良い影響をもたらしたと思います。来年は、大敗を喫した大島合同中に勝つこと、そして三回戦突破を目指して、日々の練習を大切にしてほしいと思います。応援ありがとうございました。

(野球部主将 佐々木 南波)

ソフトテニス 遠征結果と感想

僕たちソフトテニス部は、今年も団体戦と個人戦に出場し、全員全力で戦いました。男子は団体戦初出場でしたが、1勝することができました。男子は人数が少ないので、1年生が試合に出場し、緊張しながらも全力でプレーをしてくれました。女子の団体戦では、今までにないほど、とても白熱した試合でしたが、惜しくも負けてしまいました。

男子の個人戦では、2人で3年間練習してきて、たくさん声を出して試合をしましたが、負けてしまいました。とても悔しかったけど、次の1, 2年生には勝ってほしいです。女子の個人戦も、声を出して全力で戦いました。

これからの1, 2年生には、2年生を中心に、たくさん練習して来年もまた勝ってほしいです。

最後に、支えて下さった先生方、保護者の皆様、本当にありがとうございました。

(ソフトテニス部部长 高橋 黄凱)

「バレー部」島しょ大会三連覇

私たち、八丈合同バレーボールチームは、「島しょ大会三連覇・都大会1勝」という目標で、これまでの部活を頑張ってきました。今年度の3年生は部員数が少なく、2年生を含めた混合チームで大会に臨みました。チームができた頃の私たちは、学年が違ったり、学校が違ったりして、すれ違うことや、コミュニケーションが取れていないことが多くありました。ですが、合同練習をやっていくうちにチームがどんどん一つになっていくことを感じました。私たちは島しょ大会で最初の頃は緊張していましたが、だんだん自分達のプレーができて優勝することができました。都大会では、国分寺三中に接戦の末、敗れてしまいましたが、とても良い経験になりました。私は、バレー部に入り、このメンバーで戦えてとても幸せでした。今まで、本当に本当にありがとうございました。

(バレー部キャプテン 浅沼 華)

🎷 ジャズフェスティバルを終えて

今年のJAZZフェスティバルは、昨年よりも演出や演奏を工夫したステージになりました。合同演奏の「宝島」という曲では、演奏者全員がステージの前の方に出て演奏をしたり、観客のみなさんに手作りシェイカーを配って、リズムを一緒に演奏したりしました。会場にいる全員で、音楽を楽しむことができたと思います。富士中学校の単独演奏は、より良い演奏をすることと、笑顔で明るく吹くことを目標に頑張りました。また、プロの方との共演はたくさんを学びました。これからも、きれいな演奏ができるように頑張っ



て練習していきたいです。最後に、JAZZフェスティバルを見に来て下さったみなさん、ありがとうございました♪

(吹奏楽部

部長 鶴見 優心)

運動会を終えて

私は今回富士中での運動会への取組を見て、驚きの連続でした。縦割りの紅白会議では始めから当たり前のように上級生が下級生をリードし、整列順や選択種目の割振りなどが生徒たちの自治によってどんどん決まっています。練習が始まると、キャプテンが指示を出して素早く行動ができます。当日の午前中は時折雨が降って中断することはありましたが、生徒たちは競技に係の仕事に、休む暇なくとにかく出ずっぱり。それをごく当たり前にこなし、かつ仲間に対して精一杯の応援。運動会練習が始まるときに「見ている人を感動させるのは、一人一人が真剣に取り組む姿だ」と話しましたが、そんなセリフの必要ない生徒たちの取組方に、全く脱帽しました。

「伝統の力」という言葉がよく使われますが、まさに先輩たちから代々継がれた伝統が、今日の富士中を作っているのでしょう。

(保健体育科 氏部 和昭)



西日本豪雨災害の義援金に関する報告

7月に記録的な集中豪雨に見舞われ、甚大な被害を受けた「西日本豪雨災害」に対して生徒会として義援金を募集する活動をしました。当初、東京都の義援金募集に協力する予定でしたが、八丈町でも義援金を集めていることがわかり、送金先をそちらに変更しました。

部活動の遠征と重なり、夏休みに入ってから募金活動でどのくらい集まるか心配もありましたが、最終的には34,694円もの善意のお金が集まり、7月30日に生徒会で町へ持っていきました。



お知らせ

1学年の総合的な学習の時間で行った「地域調べ新聞」が八丈支庁に展示されています。ぜひご覧になってください。

展示場所:八丈支庁 展示ホール

展示期間:9月20日 ~ 10月18日

10月の主な予定

- 9月29日(土) 記録会前日指導
- 9月30日(日) 記録会(会場:三原中)
- 10月 1日(月)・2日(火) 振替休業日
- 10月11日(木)、12日(金) 中間考査
- 10月24日(水) 南大東島交流
- 10月27日(土) 土曜授業

保護者の方へ

9月30日(日)は三原中で第58回記録会が行われます。お弁当の御準備をよろしくお願いたします。自己ベストを出そうと頑張る姿をぜひご覧下さい。